

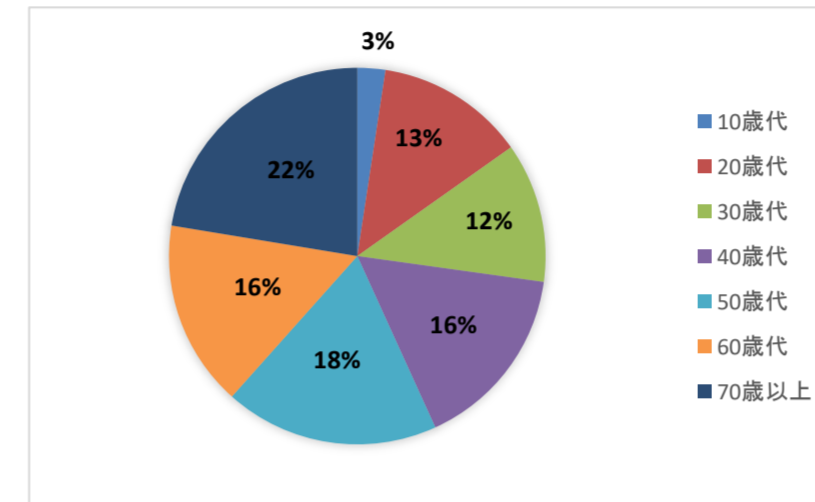
第5回 金沢産農産物についてのアンケート

【アンケート実施期間】 令和7年8月1日(金)～8月14日(木)

【アンケートの目的】 金沢の農業と森づくりプラン改訂にあたり、農業に関する市民の意識調査を行い、次の指標の参考とするため

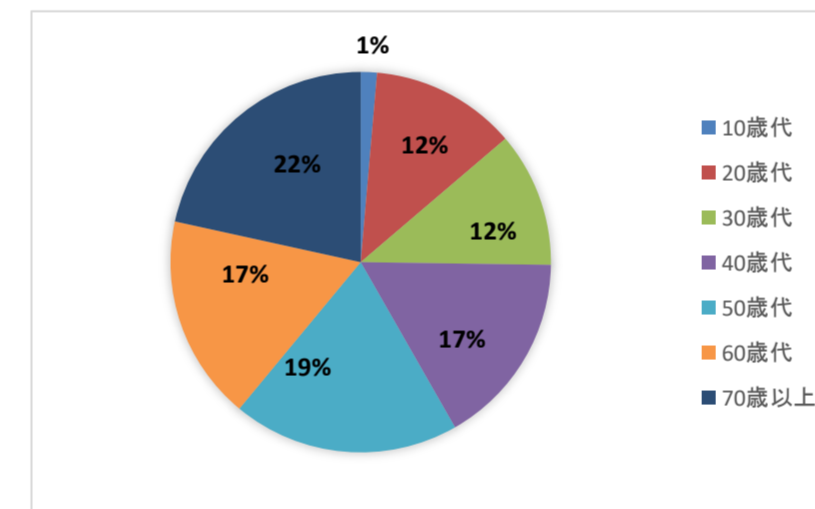
【対象者数】 250 名

内訳	人数	%
10歳代	6	2.4
20歳代	32	12.8
30歳代	30	12.0
40歳代	40	16.0
50歳代	46	18.4
60歳代	40	16.0
70歳以上	56	22.4
計	250	100.0



【回答者数】 218 名

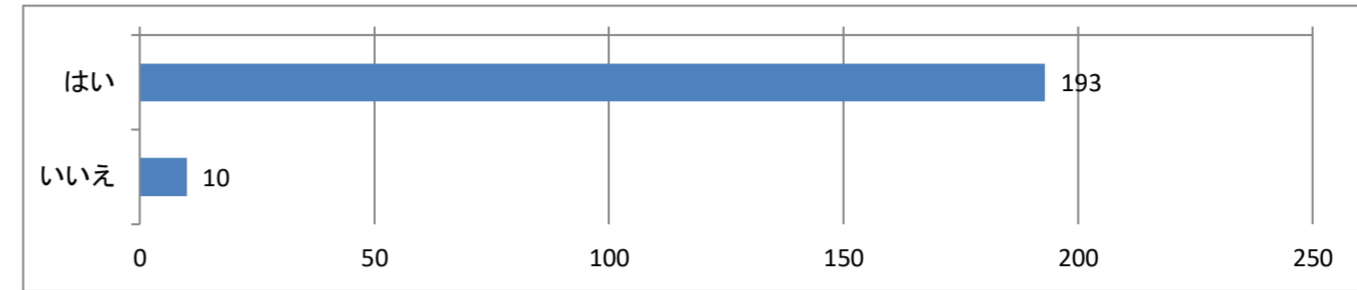
内訳	人数	%
10歳代	3	1.4
20歳代	27	12.4
30歳代	25	11.5
40歳代	36	16.5
50歳代	42	19.3
60歳代	38	17.4
70歳以上	47	21.6
計	218	100.0



【回答率】 87.2%

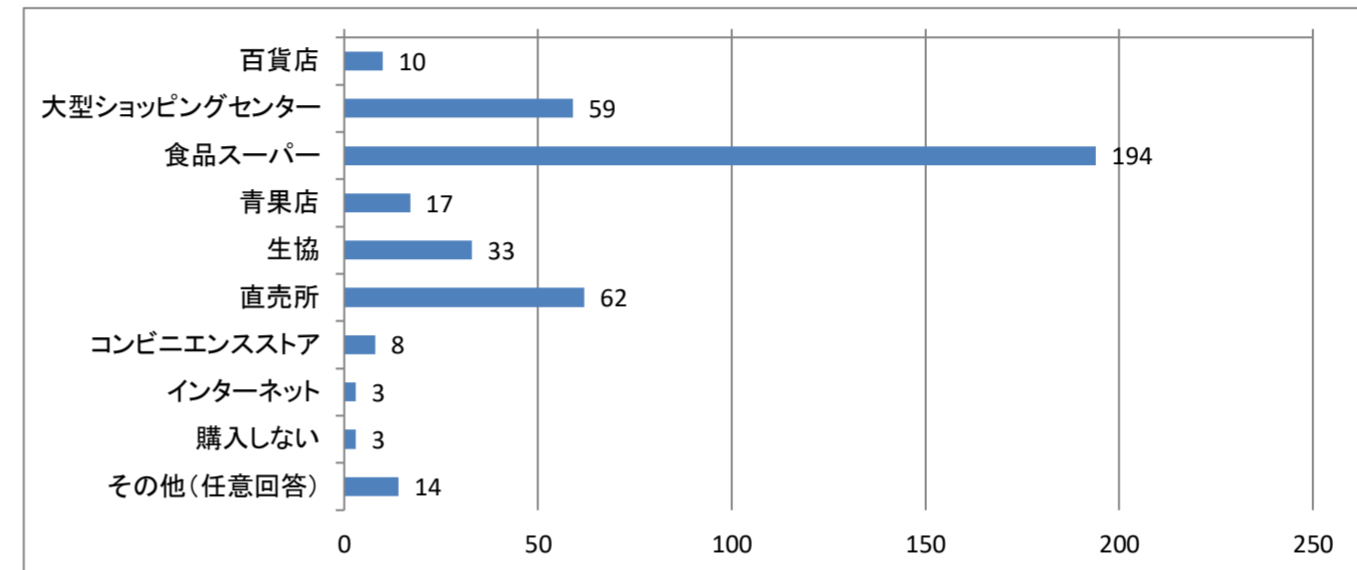
問1 野菜を積極的に食べようとしていますか

回答	人数	%
はい	193	88.5
いいえ	10	4.6



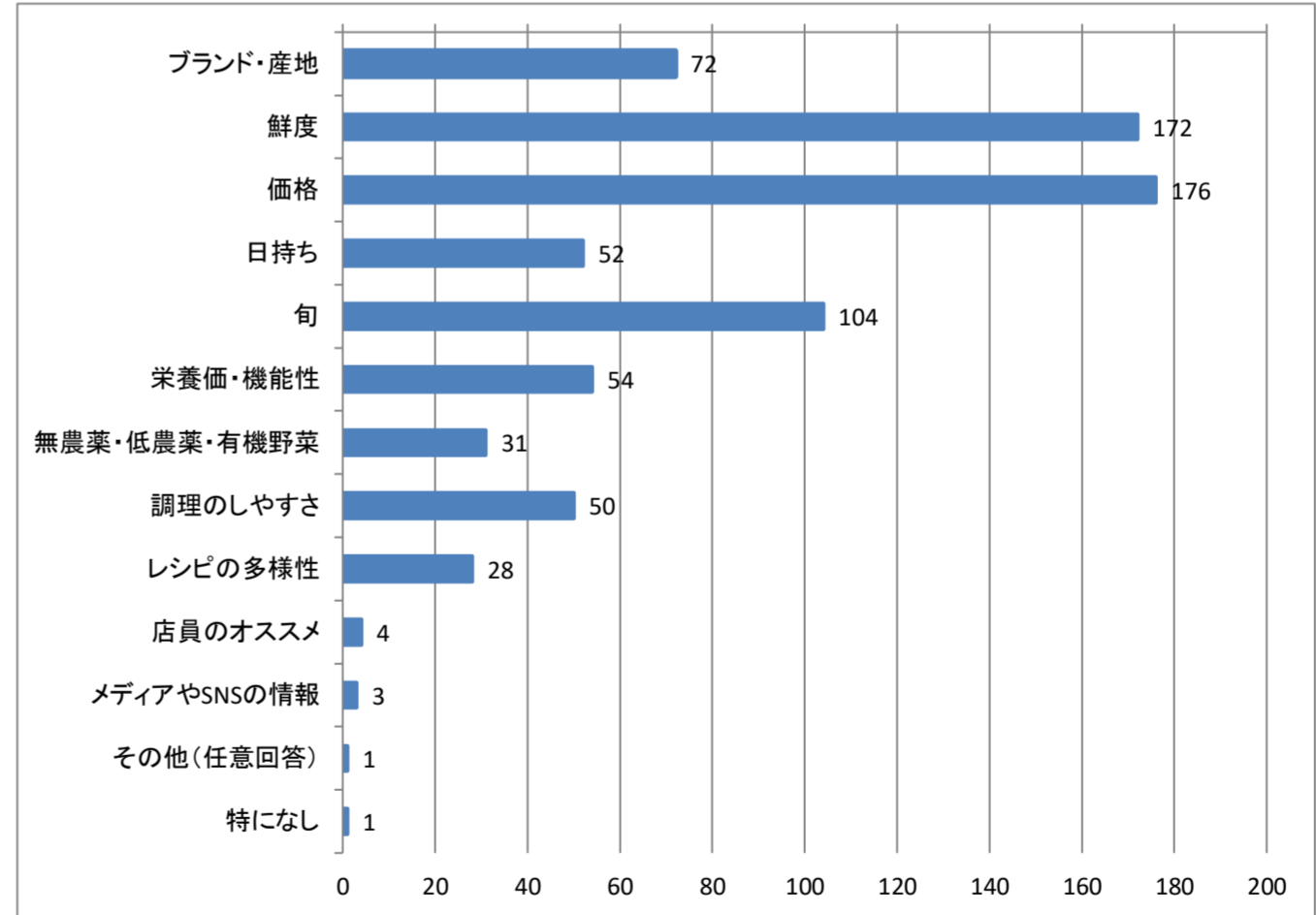
問2 野菜をどこで購入しますか(複数選択可)

回答	人数	%
百貨店	10	4.6
大型ショッピングセンター	59	27.1
食品スーパー	194	89.0
青果店	17	7.8
生協	33	15.1
直売所	62	28.4
コンビニエンスストア	8	3.7
インターネット	3	1.4
購入しない	3	1.4
その他(任意回答)	14	6.4



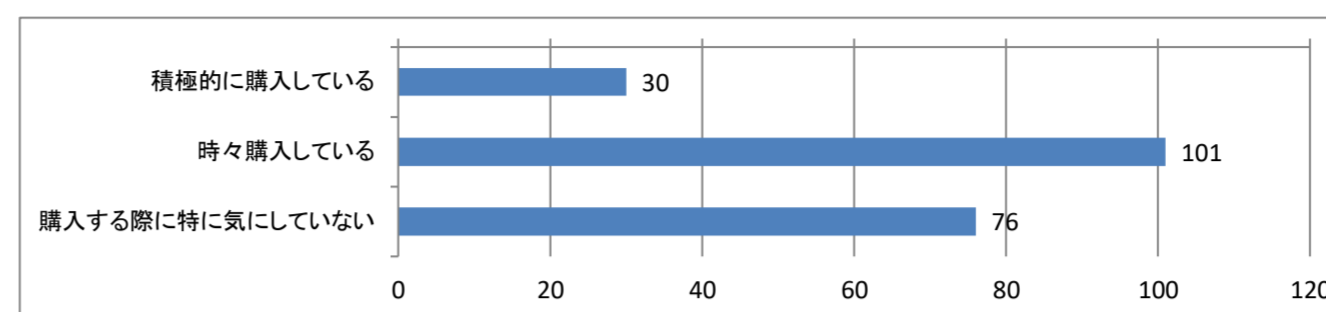
問3 野菜を購入する際に重視する項目は何ですか(複数選択可)

回答	人数	%
ブランド・産地	72	33.0
鮮度	172	78.9
価格	176	80.7
日持ち	52	23.9
旬	104	47.7
栄養価・機能性	54	24.8
無農薬・低農薬・有機野菜	31	14.2
調理のしやすさ	50	22.9
レシピの多様性	28	12.8
店員のオススメ	4	1.8
メディアやSNSの情報	3	1.4
その他(任意回答)	1	0.5
特になし	1	0.5



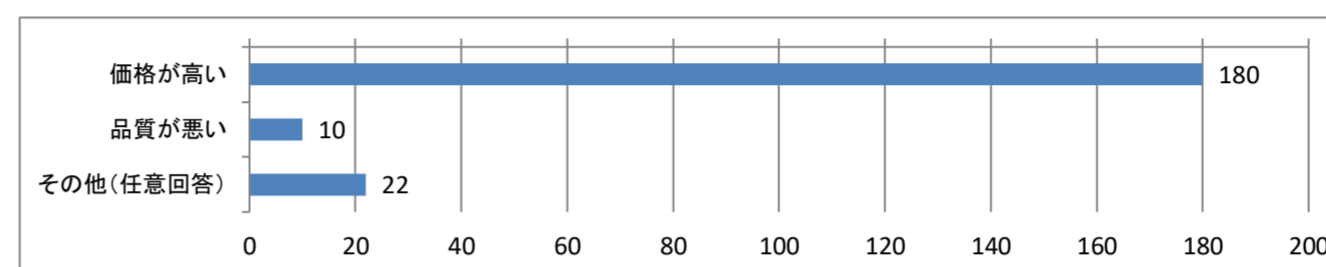
問4 有機農産物や化学肥料、化学農薬の使用を減らして栽培された農産物を購入しますか

回答	人数	%
積極的に購入している	30	13.8
時々購入している	101	46.3
購入する際に特に気にしていない	76	34.9



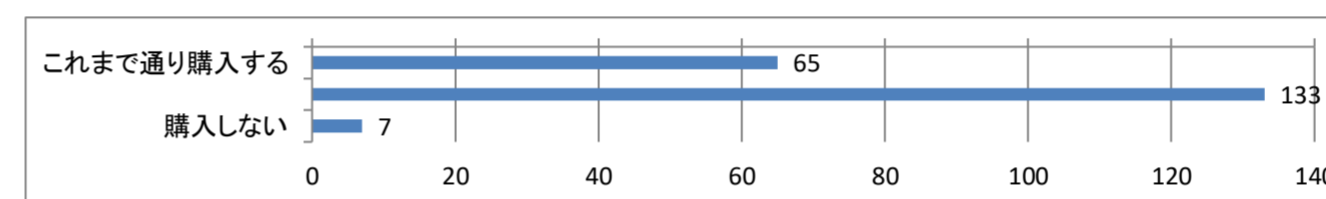
問5 有機農産物や化学肥料、化学農薬の使用を減らして栽培された農産物で購入の障壁となるものはありますか

回答	人数	%
価格が高い	180	82.6
品質が悪い	10	4.6
その他（任意回答）	22	10.1



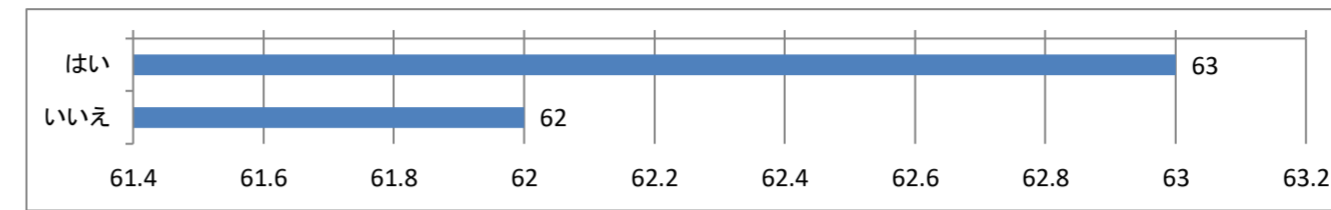
問6 農産物の価格が高くなることについてどう考えますか

回答	人数	%
これまで通り購入する	65	29.8
これまでより購入する機会が減る	133	61.0
購入しない	7	3.2



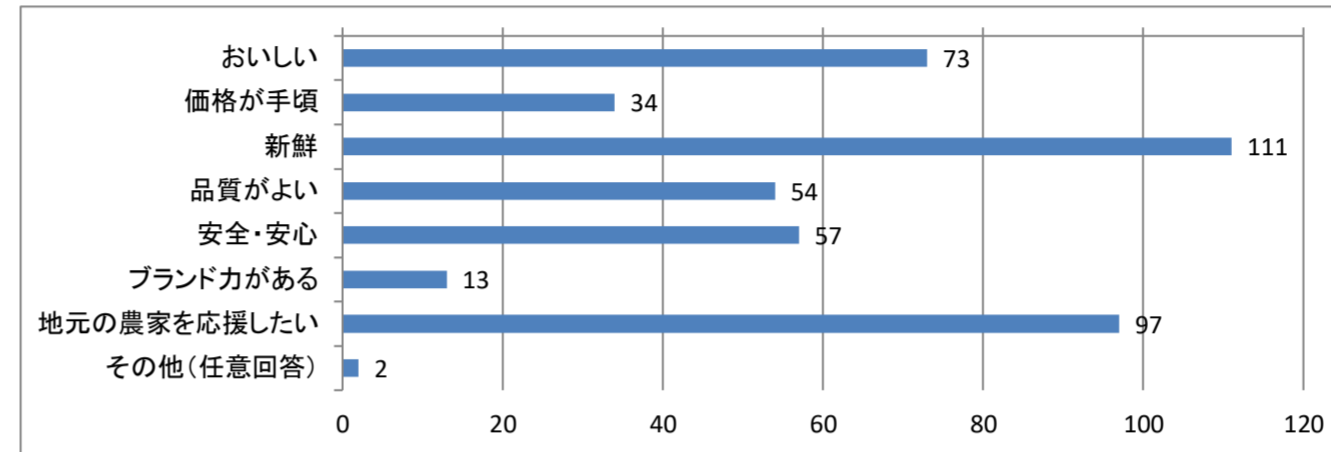
問7 野菜を購入する際、金沢産や石川産を積極的に購入しますか

回答	人数	%
はい	63	28.9
いいえ	62	28.4



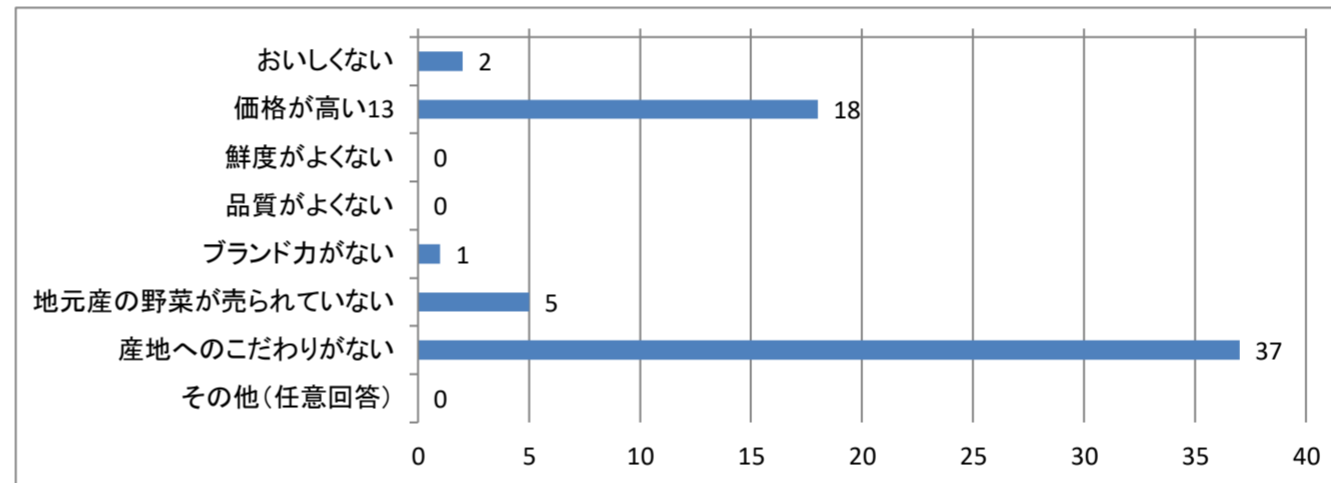
問8 (問7で「はい」と答えた人)地元産の野菜を積極的に購入する理由としてあてはまるものはどれですか(複数選択可)

回答	人数	%
おいしい	73	33.5
価格が手頃	34	15.6
新鮮	111	50.9
品質がよい	54	24.8
安全・安心	57	26.1
ブランド力がある	13	6.0
地元の農家を応援したい	97	44.5
その他(任意回答)	2	0.9



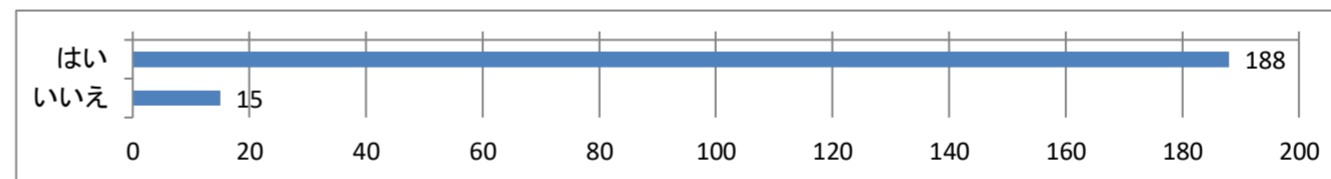
問9 (問7で「いいえ」と答えた人)地元産の野菜を積極的に購入しない理由としてあてはまるものはどれですか(複数選択可)

回答	人数	%
おいしくない	2	0.9
価格が高い	13	8.3
鮮度がよくない	0	0.0
品質がよくない	0	0.0
ブランド力がない	1	0.5
地元産の野菜が売られていない	5	2.3
産地へのこだわりがない	37	17.0
その他(任意回答)	0	0.0



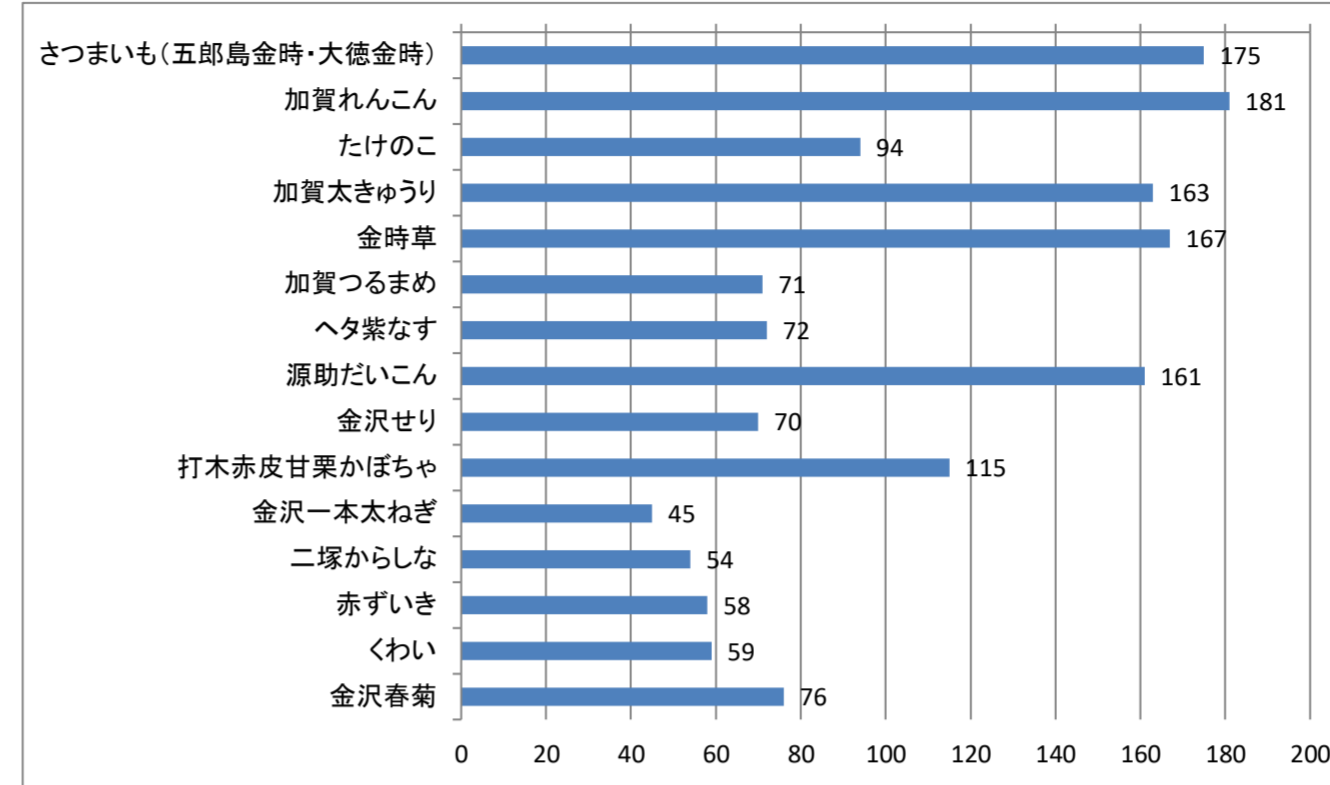
問10 加賀野菜(昭和20年以前から金沢を中心に栽培されている伝統野菜)を知っていますか

回答	人数	%
はい	188	86.2
いいえ	15	6.9



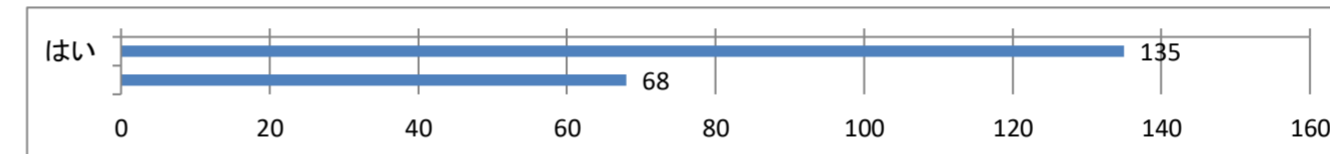
問11 (問10で「はい」と答えた人)加賀野菜15品目のうち、知っているものはどれですか(複数選択可)

回答	人数	%
さつまいも(五郎島金時・大徳金時)	175	80.3
加賀れんこん	181	83.0
たけのこ	94	43.1
加賀太きゅうり	163	74.8
金時草	167	76.6
加賀つるまめ	71	32.6
ヘタ紫なす	72	33.0
源助だいこん	161	73.9
金沢せり	70	32.1
打木赤皮甘栗かぼちゃ	115	52.8
金沢一本太ねぎ	45	20.6
二塚からしな	54	24.8
赤ずいき	58	26.6
くわい	59	27.1
金沢春菊	76	34.9



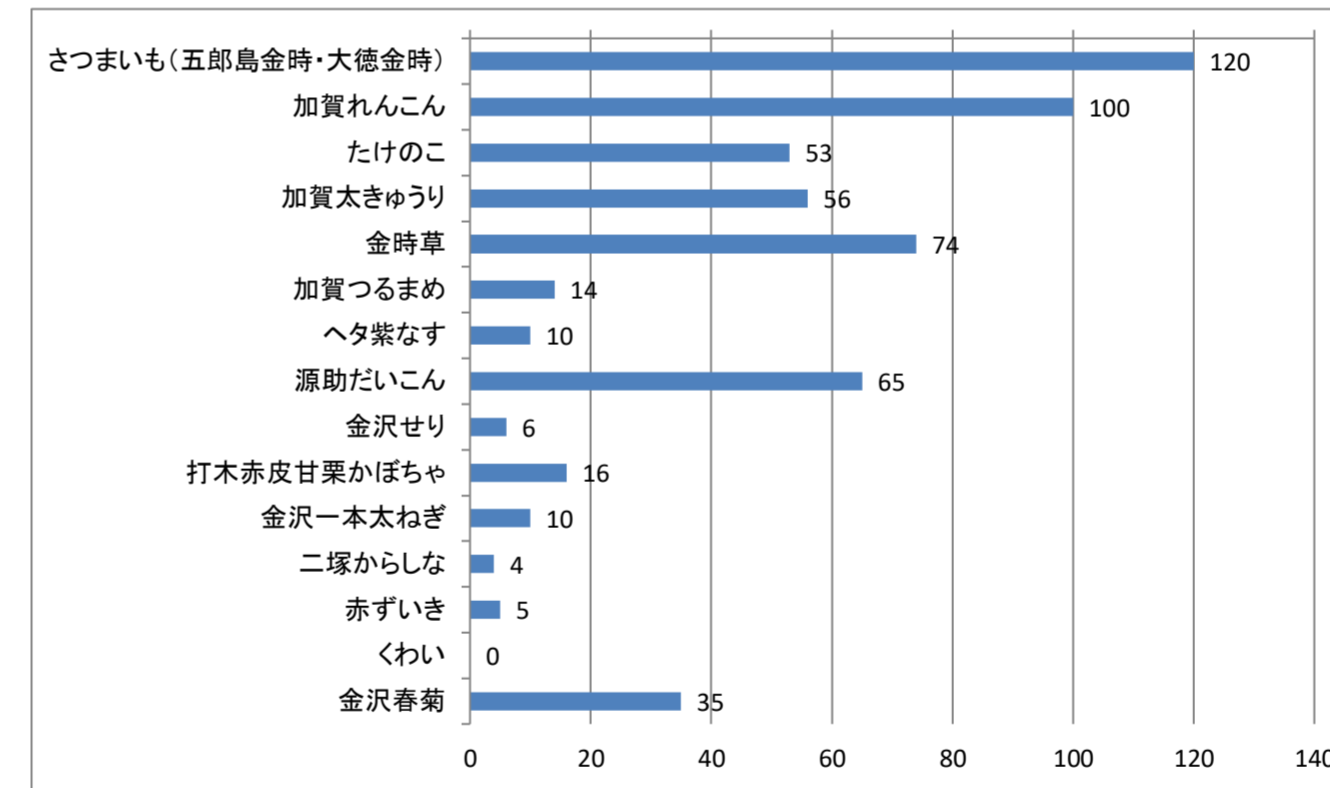
問12 加賀野菜をよく食べますか(購入しますか)

回答	人数	%
はい	135	61.9
いいえ	68	31.2



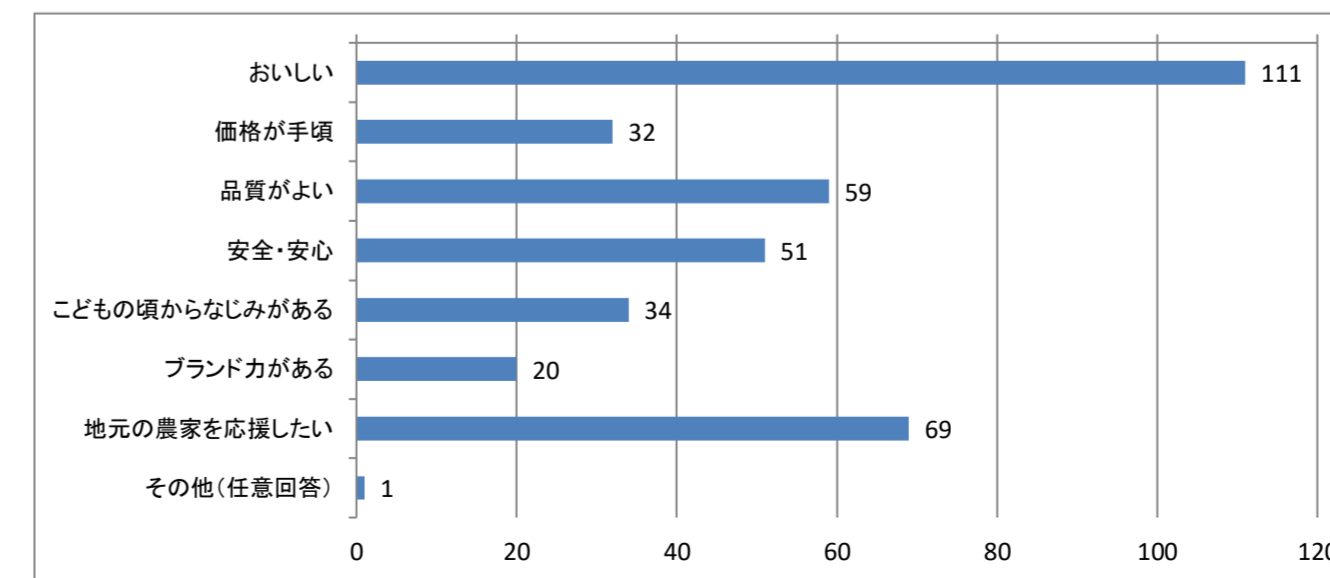
問13 (問12で「はい」と答えた人)よく食べる(購入する)加賀野菜はどれですか(複数選択可)

回答	人数	%
さつまいも(五郎島金時・大徳金時)	120	55.0
加賀れんこん	100	45.9
たけのこ	53	24.3
加賀太きゅうり	56	25.7
金時草	74	33.9
加賀つるまめ	14	6.4
ヘタ紫なす	10	4.6
源助だいこん	65	29.8
金沢せり	6	2.8
打木赤皮甘栗かぼちゃ	16	7.3
金沢一本太ねぎ	10	4.6
二塚からしな	4	1.8
赤ずいき	5	2.3
くわい	0	0.0
金沢春菊	35	16.1



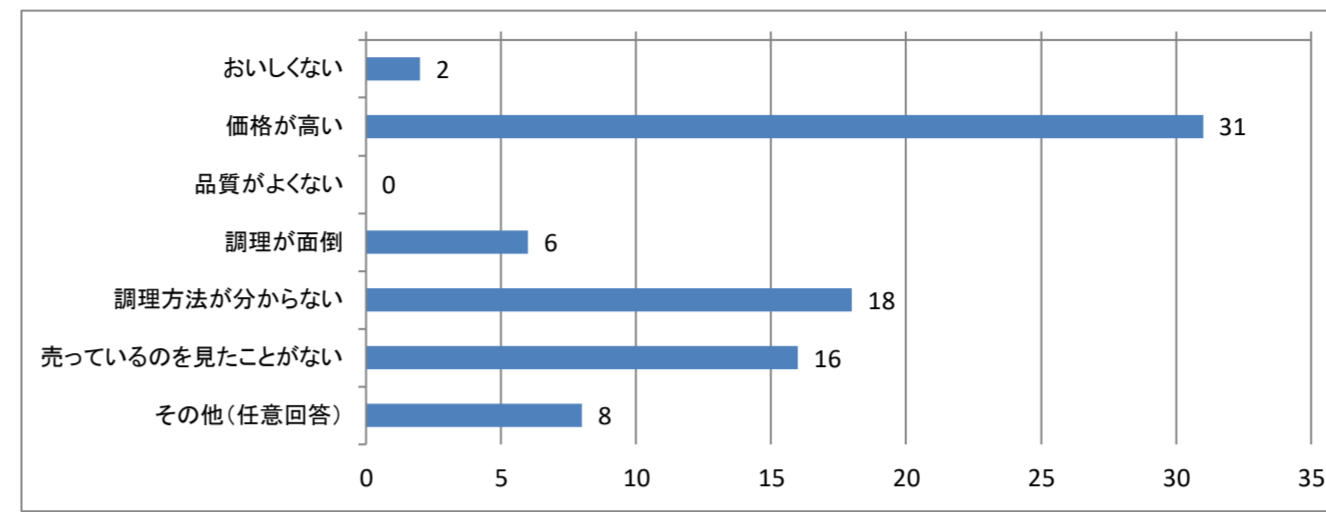
問14 (問12で「はい」と答えた人)加賀野菜をよく食べる(購入する)理由は何ですか(複数選択可)

回答	人数	%
おいしい	111	50.9
価格が手頃	32	14.7
品質がよい	59	27.1
安全・安心	51	23.4
こどもの頃からなじみがある	34	15.6
ブランド力がある	20	9.2
地元の農家を応援したい	69	31.7
その他(任意回答)	1	0.5



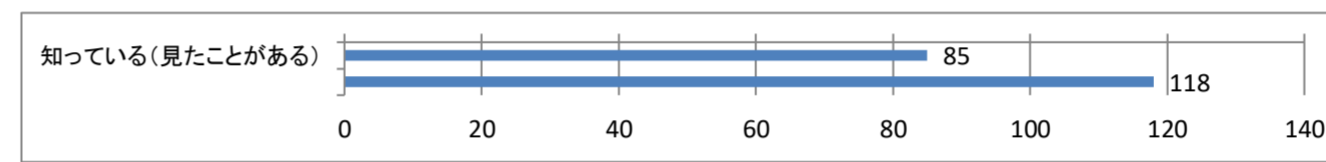
問15 (問12で「いいえ」と答えた人)加賀野菜を食べない(購入しない)理由は何ですか(複数選択可)

回答	人数	%
おいしくない	2	0.9
価格が高い	31	14.2
品質がよくない	0	0.0
調理が面倒	6	2.8
調理方法が分からない	18	8.3
売っているのを見たことがない	16	7.3
その他(任意回答)	8	3.7



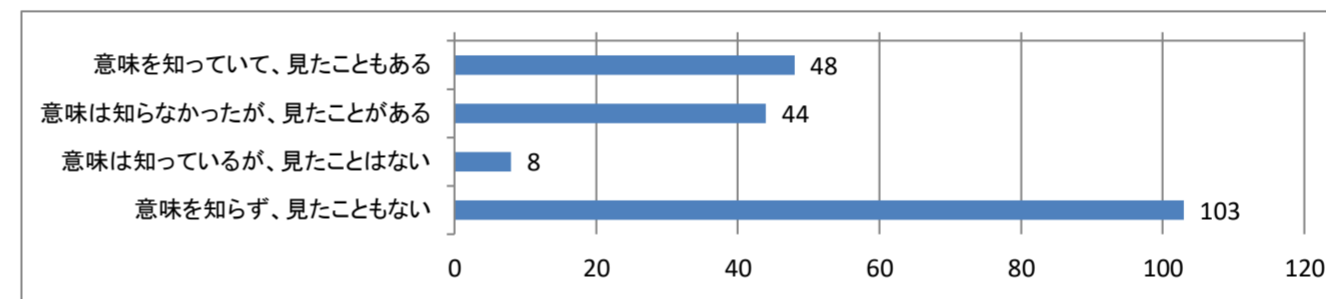
問16加賀野菜のブランドマークを知っていますか

回答	人数	%
知っている(見たことがある)	85	39.0
知らない	118	54.1



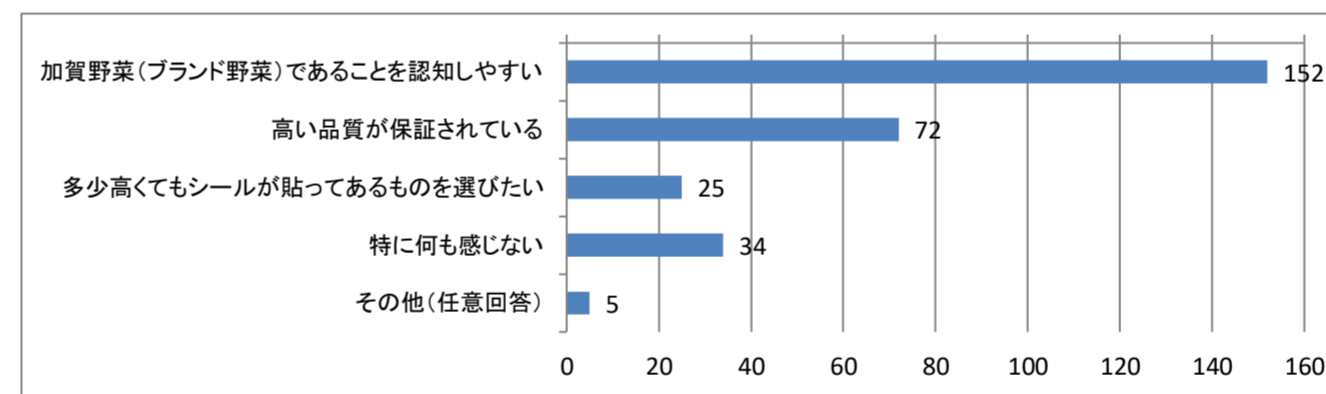
問17 加賀野菜の中でも特に品質や形状がよいものには「加賀野菜ブランドシール」が貼ってありますが、そのことを知っていますか。また、実際に加賀野菜にブランドシールが貼ってあるのを見たことはありますか

回答	人数	%
意味を知っていて、見たこともある	48	22.0
意味は知らなかったが、見たことがある	44	20.2
意味は知っているが、見たことはない	8	3.7
意味を知らず、見たこともない	103	47.2



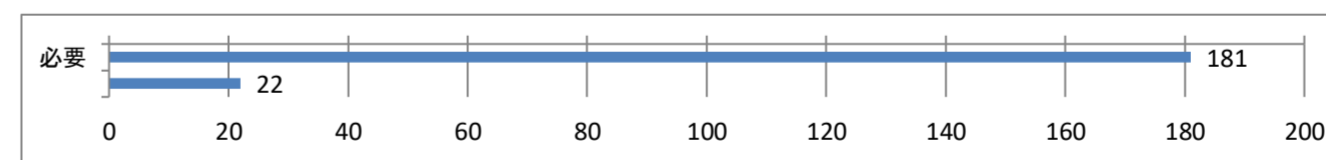
問18 「加賀野菜ブランドシール」が貼ってあることでどのような印象を受けますか(複数選択可)

回答	人数	%
加賀野菜(ブランド野菜)であることを認知しやすい	152	69.7
高い品質が保証されている	72	33.0
多少高くてもシールが貼ってあるものを選びたい	25	11.5
特に何も感じない	34	15.6
その他(任意回答)	5	2.3



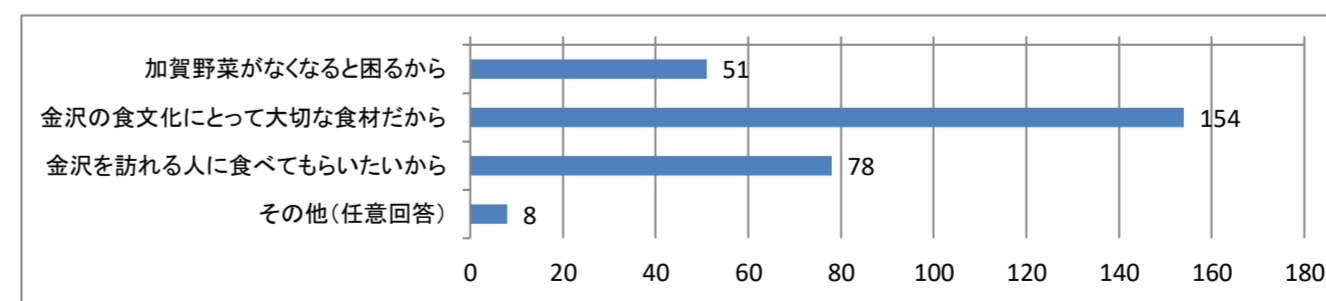
問19 加賀野菜は品種改良していない伝統野菜のため栽培が難しく、一部の品目は生産者や生産量が年々減少し、存続が難しくなる品目もあります。そのような品目を存続させていくために行政の支援が必要だと思いますか。

回答	人数	%
必要	181	83.0
必要ではない	22	10.1



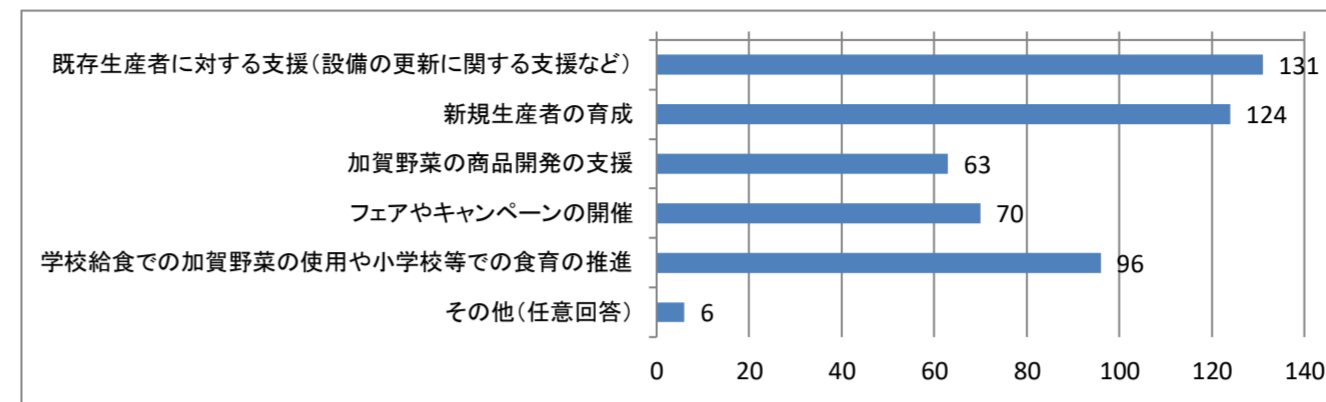
問20 (問19で「必要」と答えた人)行政の支援が必要だと考える理由として当てはまるものはどれですか(複数選択可)

回答	人数	%
加賀野菜がなくなると困るから	51	23.4
金沢の食文化にとって大切な食材だから	154	70.6
金沢を訪れる人に食べてもらいたいから	78	35.8
その他(任意回答)	8	3.7



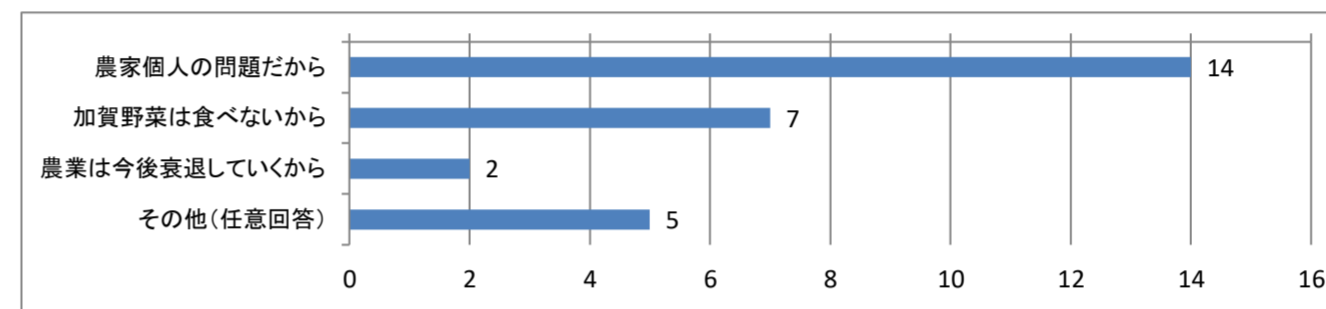
問21 (問19で「必要」と答えた人)行政が重点的に取り組むべきことは何だと思いますか。(複数選択可)

回答	人数	%
既存生産者に対する支援 (設備の更新に関する支援など)	131	60.1
新規生産者の育成	124	56.9
加賀野菜の商品開発の支援	63	28.9
フェアやキャンペーンの開催	70	32.1
学校給食での加賀野菜の使用や小学校等での食育の推進	96	44.0
その他 (任意回答)	6	2.8



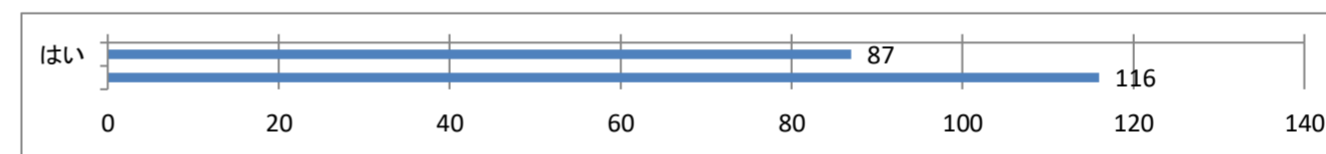
問22 (問19で「必要ではない」と答えた人)行政の支援は必要でないとする理由として当てはまるものはどれですか(複数選択可)

回答	人数	%
農家個人の問題だから	14	6.4
加賀野菜は食べないから	7	3.2
農業は今後衰退していくから	2	0.9
その他 (任意回答)	5	2.3



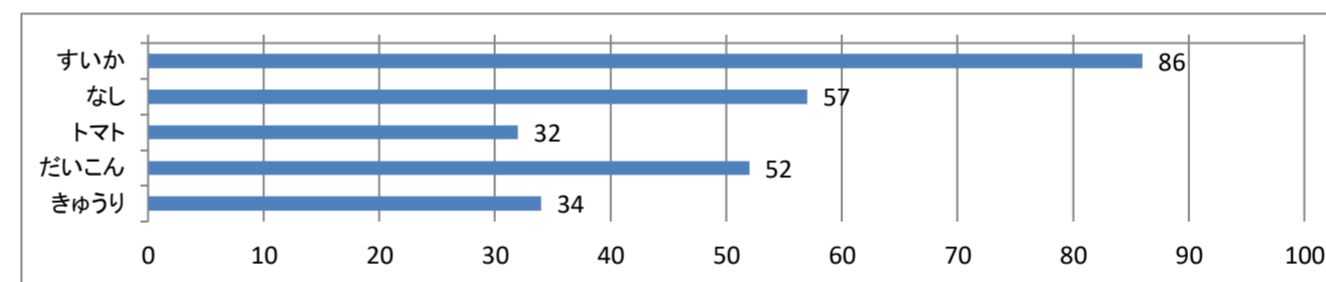
問23 金沢そだち(優れた品質や豊富な生産量を誇る金沢の農産物)を知っていますか

回答	人数	%
はい	87	39.9
いいえ	116	53.2



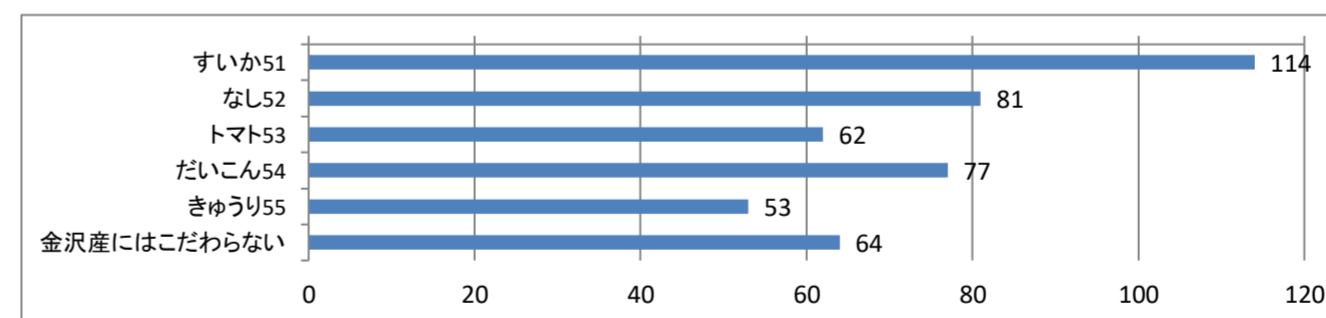
問24 (問23で「はい」と答えた人)金沢そだちに認証されていることを知っている品目はどれですか(複数選択可)

回答	人数	%
すいか	86	39.4
なし	57	26.1
トマト	32	14.7
だいこん	52	23.9
きゅうり	34	15.6



問25 金沢産にこだわって買いたいと思う品目はどれですか(複数選択可)

回答	人数	%
すいか51	114	52.3
なし52	81	37.2
トマト53	62	28.4
だいこん54	77	35.3
きゅうり55	53	24.3
金沢産にはこだわらない	64	29.4



問26 加賀野菜、金沢そだちについて、県内外での認知度向上や販売促進に関することなどご意見がございましたら、自由に記入して下さい。(200字以内)

- ・最近ではスーパーではなくドラッグストアで野菜を購入するので、そちらにも販路を広げてほしい。
- ・レシピなどあれば良い。美味しさがわかれば、値段はある程度許容できると思うので、まずは食べる機会を増やす取り組みをしたら良いと思う。(PR会、試食会など)
- ・観光客がよく訪れる、金沢駅や近江町市場で積極的に販売することで、県外の方に認知され購入意欲が湧く。観光客の方は少し単価が高くても品質のいいものをお土産として購入してくれる。
- ・学校給食に積極的に取り入れてもらい、食育講座を実施して子供の頃から慣れ親しんでもらう。加賀野菜や金沢そだちを使った商品の試食や野菜そのものの試食イベントを頻繁に開催する。季節によって旬のものをイベントで使ってもらえれば、旬大切な存在で守らなければいけないとは思いますが、特手の業界ばかり不公平と言う不満もあると思います。県や市のHPやパンフレット、SNS等で発信を増やす援護射撃のような応援を増やし農家が自力で頑張れるようにしてあげて成長出来れば何よりと思います。どうにもならない苦しい農家には支援も必要と思います。
- ・メールアドレスの入力は必要ですか？
- ・地元野菜を地元の人が食べる文化が薄れている代わりに、観光客やインバウンド向けでの消費が増えているように感じる。時代の流れに逆らわず、生産者を守るために消費の大きい所に力を入れて行政として取り組み、ぜひ持続可能な地元農業を
- ・地元が福井県で、結婚を機に石川県に来ましたが、初めてすいかを美味しいと感じました。金沢すいかは誇るべきブランドで、全国各地でもぜひ店頭販売してほしいと思いました。
- ・スーパーなど加賀野菜の陳列をもう少し広く増やして欲しい。
- ・給食などにも出てくると身近に感じると思います。飲食店では積極的に売りにしているところがあると認知はしている。
- ・給食に出して子どもの頃から知ってのようにし続けることや、加賀野菜の興味深い情報をつけたお弁当を売るなど。今回初めて加賀野菜が品種改良していないため育成が難しいことを知り伝統的で貴重なものなのだと感じたので、そのあたりを発信していくのもいいかもしれない。

- ・JAのお店でしかあまり印象がありません大型スーパーなどで特設コーナーがあると目につきやすいと思います

- ・公的機関の食堂や給食での使用を義務付ける担当者には負担のかからぬ配慮は必要

- ・まず、金沢で売って欲しい。
- ・金沢の風土活かして生産された優れた農産物を「金沢そだち」として認証し、消費者への周知を高め消費の拡大を図っていますが、一般的には「金沢そだい」が認知されていないように感じます。消費拡大を目指すには、スーパー等の売り場での周知活動の徹底強化が必要ではないでしょうか。
- ・《金沢そだち》は初めて聞いたので売り場などに書いてあったら良いと思う
- ・地元農業の育成は、食料自給率の観点からも、金沢に限らずどの地域にとっても重要な取組です。
- ・認知度を上げるが必須
- ・美味しい食べ方、安心安全である農法を他県の売場でPRしたら良い
- ・ブランド化があまり価格の高騰に結びつかないでほしい。
- ・まずはじっくり続けていくことだと思います。こういうものは、じわじわとしか進まないです。一方で、マスコミにとりあげられたら一気です。反面、うまくいかと言われたら終わりなので、やはり品質維持。本当にうまいものをつくらう、で
- ・JAで購入できる金沢産にんにくがとても美味しい（自分にはんにくを生で齧るのだが明らかに味がおいしい）のでもっと普及してほしい。
- ・和食に限らずフレンチでも、加賀野菜を積極的に使っておられるお店があるので、ご紹介や情報発信していただけたらうれしいです。また、一般の方も投稿できるレシピを閲覧できるサイトがあれば良いかと思います。
- ・県内外の、イベントで試食販売を行ったり、パンフレットを配ったりしてPRする。
- ・今までのレシピ以外に若い世代が喜ぶレシピの開発を進めて欲しいと思います。
- ・ニュースや新聞で取り上げてもらい、知名度を上げる
- ・特に無し

- ・県外から転入してきたが、全く知らなかった。しかし、さつまいもやたけのこ、大根はとてもおいしき感心した。
- ・マーケットと協力して試食をしてもらい、広く味を知ってもらうのが大事だとも思います。金沢市は補助金を各店舗に出してほしいと思います。
- ・子供達に、絵画を描いてもらい、その絵を表彰する。
- ・県外でのイベントを開いたら、認知度が高まると思います。
- ・金沢野菜については金沢に移住してから知りました。とても美味しくて手頃な値段なので購入しています。県外へのアピールは少ない印象です。駅にポスターを貼ったり、駅で野菜を売るイベントを土日にして観光客の人にアピールしたら良いと思
- ・東京から移住してきたが、石川県の野菜の認知度は全くなかった。実際に住んでみて理解できるのは、加賀野菜の認知度アップを行うと共に、流通経路を確率する必要があると思う。
- ・ブランド化による付加価値は農家にとっては重要だと思う。一方で消費者にとっては価格高騰につながる。必要以上のブランド化にはあまり賛成できない
- ・金沢そだちを大事に伝統を守っていけたら嬉しいです。
- ・しいき緑地などで加賀野菜、金沢そだちのイベントを行う。（野菜等の販売と加賀野菜、金沢そだちを使用した料理の提供）
- ・石川県内の飲食店に使ってもらうこと生産農家を守ること。SNSを駆使し若い人にも認知してもらうこと。
- ・ぜひ給食に積極的に取り入れてください。給食費は高くなってもいいので、安全な地元野菜をたくさん子どもたちに食べてほしいです。
- ・魅力的なコンテンツをSNS等で発信
- ・食品スーパーで「加賀野菜、金沢そだち」のコーナーを設けて認知度向上を図る
- ・加賀野菜・金沢そだちのブランドが混在しているので外から見るとわかりにくい。「新・加賀野菜」として、加賀野菜の大きなくりとしてとらえてしまったほうがマーケティング的にはわかりやすいのではないか
- ・全国的に見て、金沢＝野菜のイメージが無い
- ・問21が全て。何がしたい？価格をただ上げたいの？美味しくて、安全で、安ければ皆食う。逆にこのアンケート関係者の何%の人間が食べて、何%の人間が今後も購入しようと思った(購入し続けている)のか、こっちが知りたいし、加賀野菜の名前だけではなく、何のどういう所が魅力かを発信して欲しい。
- ・認知度を図るため、公共の施設、例えば親子で来る、図書館やスポーツセンターにも、金沢育ちの野菜で、頭脳、身体を作ろうとなどといったPRポスターを貼る。ポスターは、小中学校などで募集するのはどうでしょうか。
- ・加賀野菜は生産量が少ないものが多い。販促方法など大きく区別する必要があると思う。
- ・SNSで発信する（Instagramなど）
- ・美味しい野菜である事を知ってほしい
- ・金沢だけでなく石川県でPRできるとゆやい
- ・加賀野菜は有名だが金沢そだちは住んでいても知らなかった。もっと新聞やメディアでアピールするべきだと思う
- ・ふるさと納税
- ・売ってるのを買おうとは思わないけど、お店のメニューに加賀産の野菜を使ってます！とか言われたら食べたくるのでお惣菜とかにして売って欲しいです
- ・子供たちに覚えてもらうために学校給食で食べたら良いと思います。そして説明もして教えたら良いとおもいます。
- ・販売コーナーを設ける。
- ・ブランド力だと思うので、飲食店と一緒にPRすることや観光客へのアピール
- ・云々からの地元生産(金沢、東京日無)をしまり。西小田商店街には野菜専門小売店が複数店営業しまり。向陽台、江平方住りの安を良く見かりまり。種類は豆苗、何より価格が割付じさる。産直も多い。園果、果北地力からの野菜おいしいじり。マイカ?ま.押り煮りしませす

・「加賀野菜」は長い間繋いできた「種」でありこれからも後世に残したいものの一つである。特に生産者が一年休耕又は作付けを怠ると存続することが難しくなるものであり、行政指導(資金面を含め)に期待するところ。したがって、「地産地消」「ブランド力の向上」などまずは地元石川県民にあらゆる機会を通じて認知度の向上と食する機会を増やす施策(出前講座、料理教室など)の展開が必要と考える

・特に金沢産にこだわりがないので、県外やインパウンドの人に知ってもらえるように取り組めばいいと思います。

・仙台の農家の方が興味を示して居られました!

・加賀野菜は、京野菜などに比べ認知度がまだまだ低い。県外に認知されるためには、金沢駅や八重洲のアンテナショップに販売所を設けてみては。また、野菜を使ったお菓子をもっと手軽に買えるようにすれば、需要も高まると思います。

・大型スーパー等に、ブースを設置して認知度を上げる。食べ比べなどで、美味しさをアピールするなど。地元だから良きでは無く、勝負してほしいと考えます

・地産地消で地元の野菜を購入したいと言う気持ちはありますが、あまり売っていなかったり、値段が高かったりで、実際は思ったほど購入していないかもしれません。簡単でおいしいレシピがわかれば、機会が増えるかもしれません。

・JAほがらか村で加賀野菜をよく買います。新鮮で美味しく気に入っています。五郎島金時、れんこん、タケノコ、なしが特に気に入っています。県外の知り合いに送って喜んでいただいています

・子どもが、小学校の授業で勉強したり、農家さんの好意で加賀野菜をもらってきたため、県外からきた私も加賀野菜を知ることができた加賀太胡瓜は、もらってこなかったら、スーパーでも買わなかったと思う子どもがいる家庭なら、小学校での授業が家族への認知度向上や販売促進につながると思う

・県内だけでなく、県外に向けてもっともっとアピールして欲しいです。

・ふるさと納税の利用者が増えているので、ふるさと納税の返礼品に説教的に採用する

・トマトなどこまつのJAは頻繁に旬の野菜をメディアを通じて宣伝していますが、金沢梨やスイカ等JAが率先して強力に宣伝すべきと思います。トマトは小松、梨は白山（松任）に押され気味でしょうか？タケノコが心配です。知人宅にも手伝いが欲し

・町の飲食店でヤサイたちを使ったメニューを提供するキャンペーン。やっているのは見たことあるが、店舗が少ない、値段が手頃ではなかった、単発で期間が短いなど参加しにくかったので、もっと定期的にリーズナブルに！多店舗で！

・ホテル、旅館等で食事に説教的に使ってもらえるように啓蒙作戦。

・加賀野菜を使用している外食店で、加賀野菜のPR広告をすることで、この野菜は加賀野菜だからおいしいんだねー！となってもらう。使用していない野菜(金沢そだち)も含めて、野菜に興味を持ってもらう。また、加賀野菜の生産農家で収穫体験やおいしい食べ方を教えてくれるイベントの開催など。

・加賀野菜、金沢そだちなどの品はまだまだ認知度が足りない。学校では子供達の給食等にはできるかぎり提供すると共に説明宣伝してほしい。

・県外にアピールするのもいいですが、まずは県内の認知度を高めることに力を注げば良いと思う。

・生産者、JA、行政が一体となって大手流通のフェアに出展

・商品としてとても良いのは知ってますが普段スーパーで買うには手が出にくいので、飲食店などでたくさん使われてると選びたくになります

・特典（ポイント他）の付与

・スイカは非常に美味しいと思うので県外にアピールすべきだと思う

・デパートや駅で物産展を開いてもらえると買いやすいです。

・売り場で分かりやすくする、県外の取り扱い先を増やすなど

・出張キッチンカー

・加賀野菜より周知がすすんでいない印象ですので初めて耳にする方は混同してしまうかもしれません。

・都内アンテナショップでの積極的な広報

・生産が大変なのは分かるが価格が高く購入が難しい。もう少し安ければ親しみやすいと思う。

・農家には興味があるのですが、なかなか新規参入できないとききます。

・京野菜より認知度が低い感じがする。野菜はもとより加賀野菜を使ったメニューが少ないのではないのでしょうか？メニューの開発が必要かと思います。

・地元産について価格を下げる政策はどうか

・京野菜のように全国的に知られた物になる用に望んでいます。料理番組で使ってもらう、料理人、料理店で使用してもらうなど。

・他県からの移住した側からすると、石川県に来て飲食店で加賀野菜、伝統料理の事を知る機会があったので理解していましたが、それまでは文化伝統に触れる事がありませんでした。おみちよセミナーにも参加しましたが中々当選できなかったのもっと金沢市民対象のセミナーを開催したり、イベントでの飲食ブースに伝統料理を提供したり季節の野菜の事・野菜を使ったレシピなどの発信がありもっと身近に感じる事が出来るようになると良いと感じました。

・金沢野菜をもっと増やしてはどうか、特に健康に良いものを。